

平成29年度

港南区区民意識調査結果

(概要版)

港南区役所では、区民の皆様のご意見を活かした区政運営をすすめるため、区民意識調査を隔年で実施しています。今回は、生活環境への意識や日常生活、区に取り組んでほしいこと等をお尋ねし、多くの区民の皆さまから回答をいただきました。



調査概要

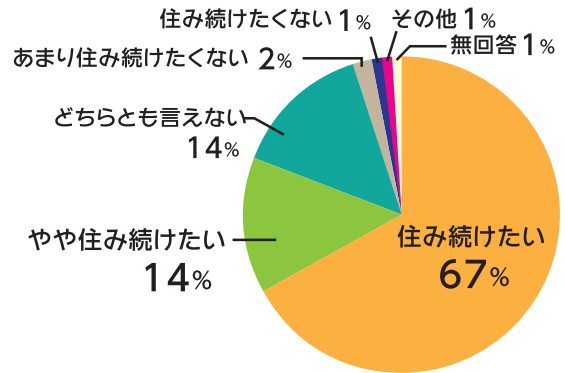
- 調査対象：港南区内にお住いの18歳以上の方4,000人(40人の外国籍区民含む)
- 抽出方法：住民基本台帳等から無作為抽出
- 回収数等：2,390票(回収率59.8%) ※前回27年度回収率(56.4%)
- 調査期間：平成29年5月16日～6月15日
- 調査方法：郵送による配布・回収 ※回収は電子申請・届出サービスも併用

1. 定住意向

港南区に住み続けたいと 思っている方が8割を超える

「住み続けたい」と「やや住み続けたい」の回答の合計が81%に上り、前回調査(平成27年度)の80%に続き、多くの方に暮らしやすいと感じていただいています。

Q. これからも港南区に住み続けたいと思いますか?



コラム

港南区のイメージ

港南区のイメージに対して最も多く寄せられた意見も「住みやすい・住み続けたい」が222件で最多でした。その他も住環境に関する内容が多く、区民の方が港南区に「住」のイメージをお持ちだということがわかりました。

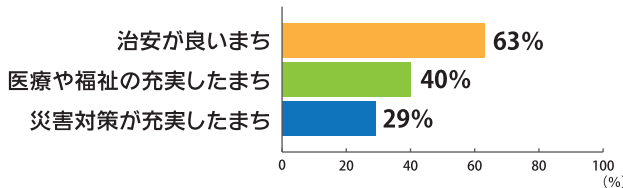
Q. あなたが抱く港南区のイメージはどのようなものですか?

1. 住みやすい・住み続けたい 222件
2. 自然が豊富・緑が多い 119件
3. 自然と都会(利便性)のバランスがとれている 88件

2. 区の将来像

安全・安心に暮らせるまちを望む声は上位を占める

Q. 港南区が将来に向けてどのような方向に発展していくことが望ましいと思いますか?(3つまで:複数回答)



区の将来像の上位3項目は平成25年度調査、平成27年度調査から変化がありません。

多くの方が港南区に「住み続けたい」と考えていることもあり、安全・安心に暮らせるまちづくりを求める声が多く寄せられました。

コラム

関心がある・充実させてほしい情報の第1位は「防災・防犯」

区役所から発信される情報のうち、関心のある情報や充実させてほしい情報は「防災・防犯に関する情報」が53%で最多でした。調査開始以来初めて50%を超え、この設問からも、安全・安心に暮らせるまちへの関心が高まっていることが読み取れます。

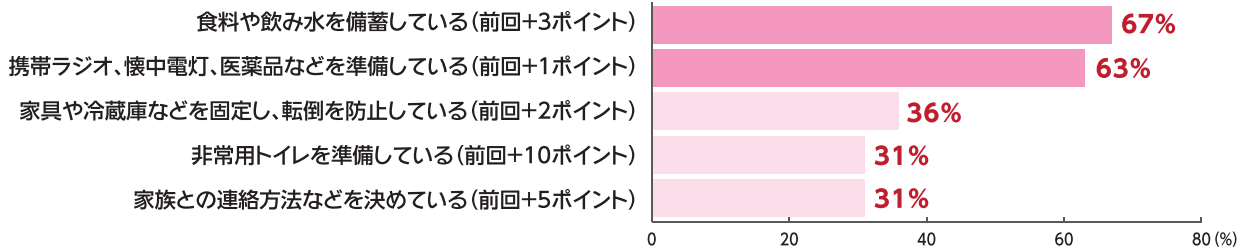
(2位:健康・医療に関する情報(46%) 3位:福祉サービスに関する情報(31%))

3.災害対策

ポイント1

家庭での災害対策、一步一步すすむ

Q.あなたの家では、地震や火災に備えて、どのような対策をとっていますか?(複数回答)



全調査項目で前回調査(平成27年度)を上回り、家庭での災害対策が着実に進んでいます。しかし、非常用トイレを準備している方や家族との連絡方法を決めている方は3人に1人程度にとどまっており、食料・飲料の備えに比べて低い水準となっています。



コラム 港南区の防災5箇条

- 話し合おう! 家族の連絡どうするの?
- 備えよう! 最低でも、食料・飲み水3日分
- 圧死から身を守ろう! 家具の転倒防止と耐震対策
- 避難時は! 電気・ガスの元栓切って
- 地震だ! となり近所に声かけて、まずは「いつとき避難場所」

● トイレパックも忘れずに!

トイレパックがあると、震災で水洗トイレが使用できなくなったときも、便器にかぶせて排せつできます。1人1日5回分を目安に備蓄しましょう!

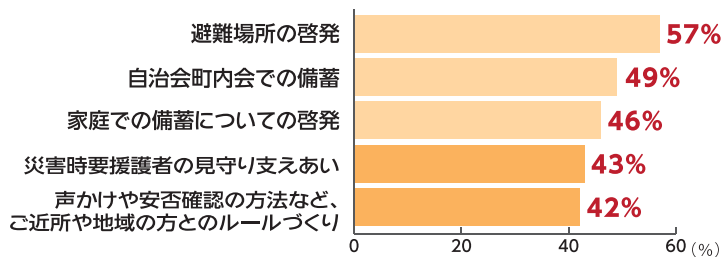


ポイント2

災害時の共助への理解が深まる

● 要援護者(お年寄りや子ども、障害者など)の見守り支えあいを進めるべきとの声が多数に上る

Q.災害に備え、今後、自治会町内会がどのような取組をすすめるべきだと思いますか?(複数回答)

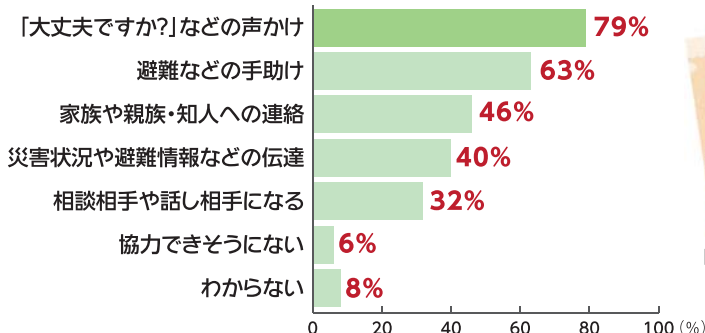


「声かけや安全確認の方法など、ご近所や地域の方とのルールづくり」(42%)を求める声も多く寄せられました。

家庭での災害対策など自助の取組だけでなく、災害時の共助も自治会町内会で進めるべき取組と考えられています。

● 災害時に手助けが必要な方への協力が可能と答えた方は約8割

Q.災害時、あなたご自身や家族の安全は概ね確保されていると仮定して、あなたの家族以外の避難時に手助けが必要な人に対してどのような協力ができそうだと思いますか?(複数回答)



「大丈夫ですか?」などの声かけ(79%)、「避難などの手助け(63%)」など、多くの方が災害時の共助に前向きな考えを持っていることがわかります。



【港南区災害時要援護者支援パンフレット】
〔障がい者編〕・〔支援者編〕
区ホームページでご覧いただけます

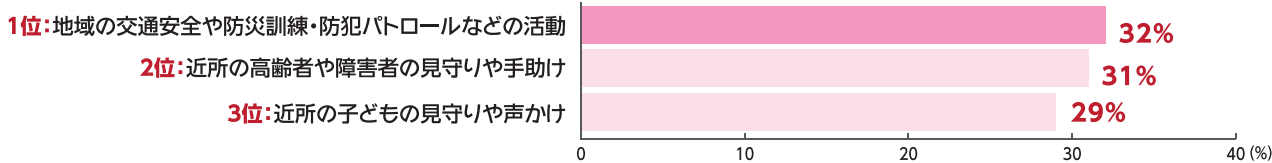
4.地域活動

ポイント1

充実すべき地域活動は防災・防犯や見守り支えあい

充実すべき、重要度が高いと考える活動は、防災・防犯や見守り支えあいなどが上位を占め、地域の安全・安心に対する地域活動の役割が期待されています。

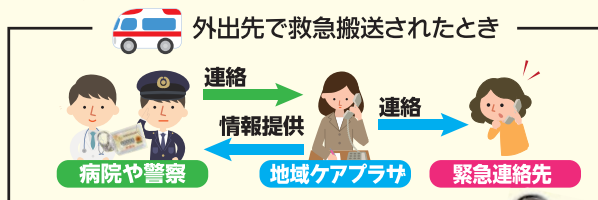
Q.今後、地域の中でより充実させていくべき、重要度が高いと考える地域活動はどれですか?(複数回答)



コラム 見守り・支えあいの輪を広げましょう

万が一のお守り “ひまわりホルダー”

日頃から身に着けておくと、こんな時に安心



対象: 区内在住の65歳以上の人
 費用: 300円(ホルダー代。登録・更新無料)
 登録方法: 港南区内の地域ケアプラザで登録できます。



港南ひまわり “83運動”

地域全体で子どもを見守りましょう

地域のみなさん!
 外での用事は小学生が登下校する
8時と3時に行い、
 地域全体で子どもを見守りましょう

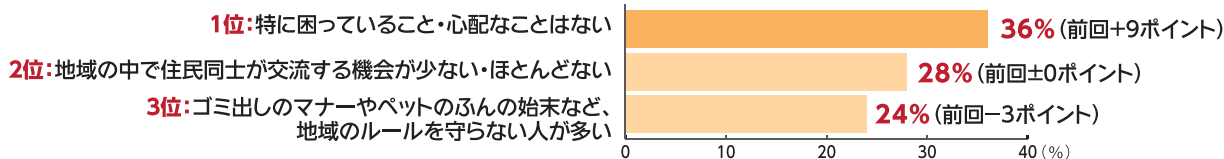


港南区青少年健全育成を推進する会
 港南区安全安心まちづくり推進協議会
 港南警察署 港南区役所

ポイント2

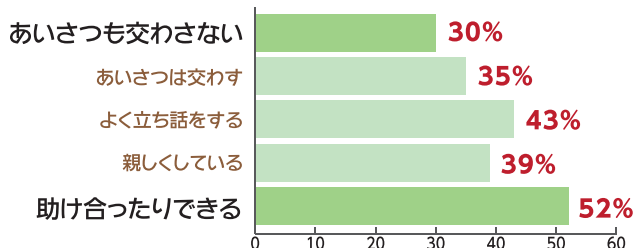
地域コミュニティに関する困り事・心配事が減少

Q.近隣との関係が希薄化し、地域活動の担い手不足などにより地域コミュニティの力が弱まっているといわれていますが、このような中であなたが困っていること、心配なことはどのようなことですか?(複数回答)



上位3項目以外でもほぼすべての回答項目において、困り事・心配事は横ばいもしくは減少の傾向が見られます。

Q.「特に困っていること・心配なことはない」と答えた方の地域とのつきあい方別の傾向



地域でのつきあいが深いほど困り事・心配事が少なくなる傾向にあります。

イサという時、役に立つのは地域の絆

自治会町内会は
 “みなさんをつなぐ”活動をしています!



5.健康づくり

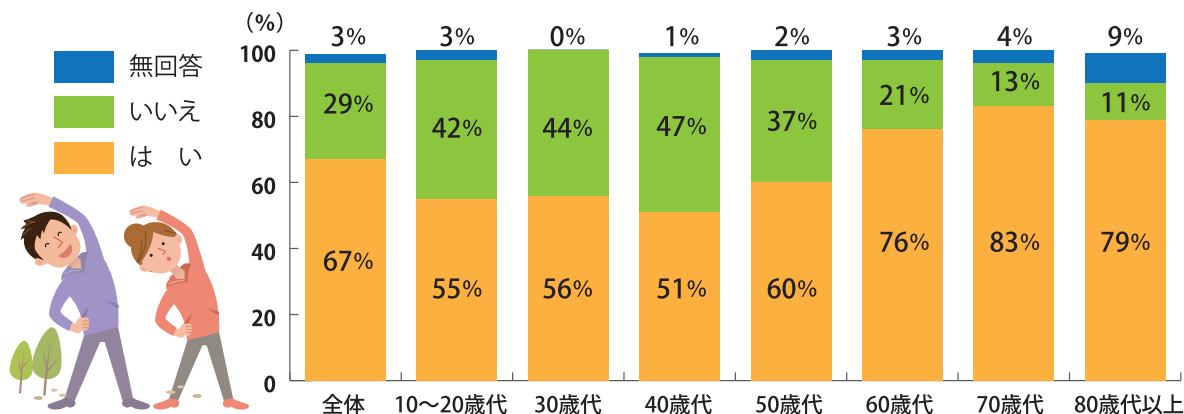


ポイント1

最も運動習慣があるのは70歳代

60～80歳代が80%前後と高い一方で、10～40歳代の方はいずれも50%台であり、世代間で運動習慣に差が生じています。

Q.なるべく体を動かしたり、運動をしていますか



ポイント2

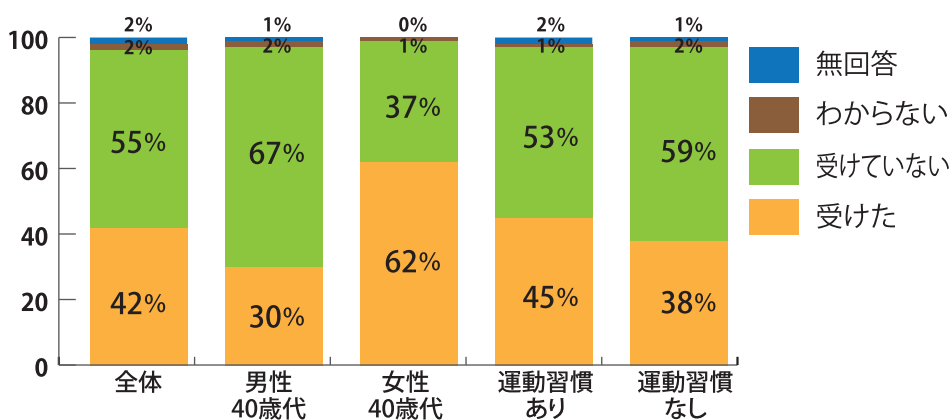
がん検診の受診率は42%



男性40歳代は、他の年代と比較して受診率が低くなっています。

また、運動習慣が「ある」と答えた方の受診率(45%)は「ない」と答えた方の受診率(38%)に比べて7ポイント高く、より健康への関心が高い傾向にあります。

Q.平成27年度から平成28年度にがん検診を受けましたか?



コラム ^{ファイブ}健康アクションこうなん5



港南区ウォーキング推進キャラクター「ひまわりくん」

- あるこう！毎日……………ご近所さんと あいさつ交わし 地域とつながり介護予防
- たべよう！野菜……………野菜たくさん 塩分ひかえめ だしの旨味をたっぷりと
- まもろう！歯……………口から美味しく食べるため 定期的に歯のチェック
- なくそう！たばこの煙……………一人ひとりが意識を高め、たばこの害のない港南へ
- やすもう！しっかり……………睡眠と気分転換で明日の元気の源に

そして 受けよう！ がん検診と健康診断

●詳細な報告書は、区ホームページや区役所1階区政情報コーナー、区内地区センター、地域ケアプラザ、コミュニティハウスにてご覧いただけます。

【区民意識調査URL】 <http://www.city.yokohama.lg.jp/konan/isikityosa/manzoku/>

●小数点以下を四捨五入しているため、グラフの合計が100%にならない場合があります。

